

(第③) 高校生の登校拒否 不登校

ひどい対応に心が痛んだ

教員が半数でしたが、お母さんたちの体験をたくさん聞くことができてよかったです。

「毎日 暴力的に子どもを連れに先生が来た。子どもを守れなかっただ」との話に、昔のこととはいえないひどい対応に心が痛みました。

(埼玉：)

(第⑩) 手をつなぐ輪を広げて

すてきな大人に成長して帰りたい

皆さんの話を聞きながら「うん、うん」うなづきながら 同じだ～同じだ～共感でき ほっとしました。

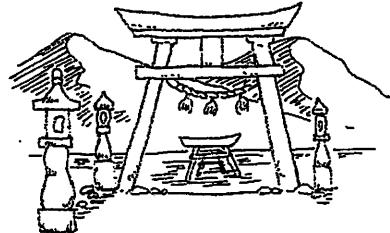
語るといへっぱい話したいことありの皆さんでいろいろ いへっぱい話したいと思い、聞きたいと思いました全国から集まって 言語りあい、いろんなことを学び すてきな大人に成長して帰りたいです。

(長崎： 参加してよかったです 母)



あじだしぽん酢
と醤油

分科会より



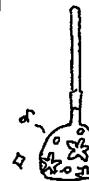
和多都美神社(封臣)

(第⑨) 親・家族の役割と家庭づくり

皆・本音の語り合い

みんな本音の語り合いで
居心地が良くて
分科会の大切さを再認識
しました。少ない人数でした
ので、みんなが語れました。

(長崎：)



明日も言葉に出していきたい

安心していられる
場所の重要性について理解するこ
とができる。

私自身のかかえて
いた悩みを言葉に
出すことができ、
少し、胸の量りが
晴れたように感じる。
明日も言葉に出して
いきたいと思う。

言葉に出して気持ち
を伝える重要性を
改めて感じた。

(徳島県： 学生)

(第⑫) 登校拒否・不登校と「非行」

社会も学校もきゅくつで苦しい

自己紹介をしましたが、
それだけで 時間いっぱいとなり
ました。明日、ここに新しい人を
迎えられたら、その方の話を
いちばん大事に尋ねられたらと
思っています。みんなから
最後に出た言葉 社会も学校も



つどいin長崎速報

そんまで

つながろう

2019. 第6号

特設分科会

「ひきこもりを語り合う」

いろいろ聞きたい

全国のつどいに参加させて頂いて
7~8年になりますが、息子が今
になりました。青年という年齢では
ないので、そういう年代の集まりが
あればと思いました。親の思いは
どういろいろ聞きたいです。

(大阪・)



当事者として

私は、ひきこもり当事者ですが、親の立場
の悩み、苦しさを知る良い機会でした。
なかなか自分の両親とは当時のことを
語り合うことができないので、今後
両親の当時の思いも聞くことができ
ればと思います。

(長崎・)

父親との関係

家庭内でそれ程 wasn't
ひきこもりの背景、悩みを抱
えており、その多様性に驚い
た。しかし、息子がひきこも
っている場合は、父親との関係性
が重要だ、ということは通じて
いるものがあるため、ひきこ
もりの状況に向かわせていくため
のヒントにはねばと思う。

(·その他)



分科会より

② 中学生の登校拒否・不登校

心がス～ツ

分科会では、地元の方はいらっしゃ
なかつたのですが、全員でお話を聴きあい
やっぱり涙がたくさんでてきて、かずへ
と樂になりました。信じて待つで良かった。

(東京・父母)



信じて待つ

皆さんがいろんな経験をされていることが
わかり、共感できる部分がたくさんあった。子ど
もをサポートする人、子育てをしている親、さ
まざまな視点から子どもを見ていることが分か
った。子どもを信じて待つ、それい限るといふこと
を改めて感じました。とても有意義な時間でし
た。(長野・父母)



続いている会だから

昨年参加して下さった方が、「去年の
学びのおかげで」という事で、現在の
お子さんのようすを伝えて下さって、うれ
しかったです。続いている会だから
こそですね。(·)

